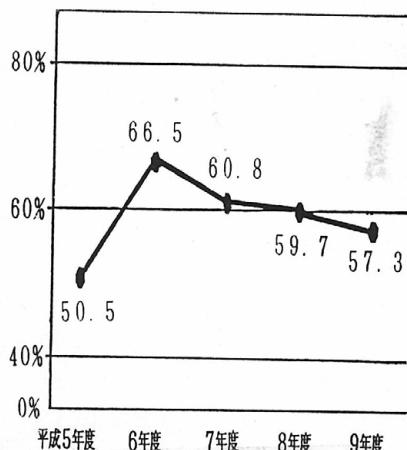


投票率の低迷一層深刻に

～執行委員會役員選舉～

過去5年間の投票率



り、昨年度の五九・七バーセントと比較して約一・五バーセントの減少が見られた。毎年問題となるのはこの投票率の低迷である。二二学年は、学生の半数近くが選挙権を持ち、選挙しており、このままではいつ選挙不成立となる五十〇バーセントを割ってもおかしくない。

執行委員会は、部室棟の管理や駐車場の使用など、部活動やサークル活動にも密接に関わっている。そのため、もし選挙が成立しなければ部室棟の使用が出来なくなる等、学生生活に直接支障を来すことがある。だが、その危機感は一般生徒にはなかなか伝わらなかつたようだ。選挙管委員会が投票を配ったり、新

ハ一セ
の投
数年
を放
はい
くま
一
は
くま
の管
部活
接に
も
部室
寺、
事務
新規
管理
体わ
感体
くお願
いし
ます」

低下の原因はそれだけではな
いだろう。事實上の信任投票率
であることや、立ち会い演説
がアピール不足であつたこと
などが考えられる。来年以降
に課題をどうしていかねばならない
問題だらう。

新聞会では、執行委員長に
信任された西坂さんにこれが
らの抱負を伺つた。

「執行委員会は皆さんからの
御意見を取り入れ、問題点を
一つでも多く解決していくた
め活動しています。また、今
年十一月完成予定の新部室棟
の管理も行なわなくてはなり
ません。副委員長はじめ執
行委員会の皆と力を合わせて
よりよい環境を作つていただき
たいと思います。皆さんよろしく
お願いします」

来る五月一十六日から二十一日までの三日間にわたりて平成九年度執行委員会役員選舉が行われた。その結果、執行委員長に西坂秀典さん、副執行委員長に川端理子さん、本賞さんが信任された。

総投票数は二千六四票（有権者数二千六四四票）、投票率は五〇・三ペーセントである。

聞会も号外を発行したので、選挙について全く知らないかたはいなかつただらう。投票方法も簡略化されているため「面倒だから」ということもなかったはずである。学校で一人一人が選挙活動に積極的になるよう選舉活動に積極的に参加してほしい。

東京薬科大学新聞

発行所
東京薬科大学
新聞会
責任者
隈崎修孝

六月号

新入生男子		
一位	石川 裕史	陸上部
二位	法月 邦博	バスケ部
新入生女子		
一位	新井 祥子	サッカーチーム
二位	山崎 明子	硬式庭球部
一般男子		
一位	坂田 悟	陸上部
二位	鈴木 一史	陸上部
一般女子		
一位	木下 あさ子	バスケ部
二位	日垣 朋美	硬式庭球部
研究室男子		
一位	野村 久祥	薬品製造学
二位	富永 啓太	第一薬剤学
研究室女子		
一位	石川 多鶴	第二薬理学
二位	宇井 彩子	第一衛生化学
タイムレース		
一位	山川敏郎先生	第二生化学
二位	小清水英司先生	体育学教室

マラソン大会

五月十七日（土）に、体育部門主催のマラソン大会が開催された。前日までの天候が不安定であったため雨が心配されていたが、当日はマラソンに適した穏やかな天候であった。

参加者は学部生、院生、教職員を合計とする五百人以上のランナーが集まつた。毎年の恒例となった仮装ランナーも過激な衣装で皆の注目を集めていた。上位入賞者にはグ

ム機等の豪華商品が贈られ、
参加者全員にもショーストオ
リジナルタオルが配られた。
体育部門長である櫻井信也
さんに、大会を終えた感想を
伺つた。
「今回も多くの団体から参加
があり、とても盛り上がった
大会となつた。事故なく終え
ることができたので大成功だ
と思っている。学生部・補助
員の皆様を始め御助力いたた
いた方々全員に感謝したい」

エリートとして仕事をこなしてきた。彼にとって、クライアントであるスポーツ選手の多さとマネージメントした選手の契約金の高さが第一であった。しかしそんな利益最優先の考え方に対しても疑問を持ち始め、彼は、もっと選手を大切すべきであるという内容の提案書を書き上げた。

トム・クルーズ主演の映画「ザ・エージェント」が公開された。エージェントというのは、人と企業との仲介を一手に引き受ける人のことである。本作でトム・クルーズはスポーツ選手のエージェント、ジェリーを演じた。

ザ・エージェント

お詫び

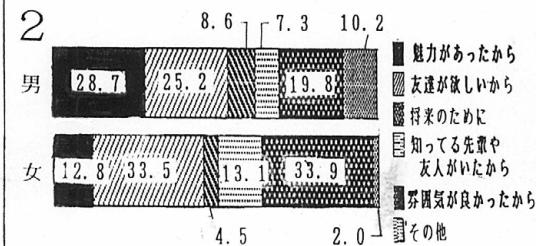
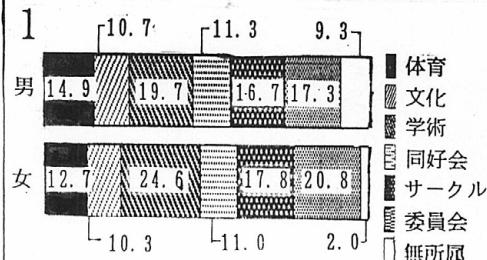
長田決定の記事において、副議長の前田利総さんのクラスが一一Fとなっておりました。が、一一Gの誤りでした。この場を借りまして、深くお詫び申し上げます。

学内展が文化部門主催で行われる。

この学内展では一年生の作品が早くも展示され、四月に行われた春展より大規模なものとなる。新しい感性の作品が加わり、より見応えのある展示会となるだろう。

なお、日程と場所は左記の通りである。

新学期が始まって二ヶ月が経った。新しい生活にも慣れ始めた頃だと思う。皆さん、勉強の方ははかどっているだろうか★勉強とは切っても切れない関係にある先生と呼ばれる方々は、教え方の面で上手な先生と下手な先生の二種類に分けられる。ではこの二者の違いはどこにあるのだろうか★教え方の下手な先生の授業では、理解しづらい所があつたり、学生の興味を失わせることが多い。このような問題が取り除かれれば授業はおもしろく、かつ理解しやすいものになるだろう。つまりこれら問題を取り除けるかどうかが、教え方の上手・下手を分ける一因なのだ★学生が興味を持ちにくい教科であっても、授業の進め方に魅力があれば、興味を持たせることは可能であろう。しかし、人は誰でも興味のないことはやりたくないという習性があるから、教える側は大変である。もちろん自主的に勉強するものが学生の本分だ。だからほとんどの先生は学生の自主性に任せており、中には自分の世界に入ってしまっている先生もいる。そのため、ついでいけない学生は授業を受けた気がなくなり、遅刻をしたり他の授業の予習をするなどして、次第に授業に出てなくなる★授業は先生と学生がいて初めて成り立つものである。授業中の私語は授業の内容を分からなくなるだけではなく、先生と他の学生達の集中力を失いて、授業の質を落すことになる。それゆえ授業には学生の協力が必要なのだ★もうすぐ前期試験がやってくる。居眠りなどをしても単位を落とさないよう、退屈な授業でもめげずに勉学に励もう。



今年も新入生に対しても入部状況のアンケートを行った。今年の総回答者は三八八、回収率は七四・八パーセント

【①どの部門に所属していますか?】という質問では学部による差が出た。生命科学部に

【②入った理由】についてはその団体の活動内容や雰囲気に入ったり、友人作りのために入った人がかなりの割合を占めていた。また、少數ではあったがどの団体にも入らなかった人達は、ほとんどがその理由を忙しいからとしている。

【③入ってみての期待と現実のギャップ】の回答としては多くの人が期待通りとしていたが、期待外れという意見も見られた。しかし、期待外れを感じた人も、自分の努力次第で、最初の印象とは違う面

はあまり偏りが見られなかつたのに対し、薬学部は学術部門に所属した人が多かった。これは、学術部門には薬学関係のものが多いことが要因であると考えられる。しかし、今年から新たに生命科学部の新生が参加した学術団体もあり、今後は生命科学部生の活躍が期待される。

また、男子は無所属と回答した人が割合多く、団体に所属することに対する興味を持つ人は少なかったようだ。一方、女子はほぼ全員が何らかの団体に所属しており、男女の考え方の差が浮き彫りになつた。

所属した団体の数は、一つあるいは二つという人がほとんどであるが、中には五つやそれ以上という人もいるようだ。ただ、二つの団体に所属している人は委員会と部活動はサークルに入っているという人が多い。

【④入った理由】についてはその団体の活動内容や雰囲気に入ったり、友人作りのために入った人がかなりの割合を占めていた。また、少數ではあったがどの団体にも入らなかった人達は、ほとんどがその理由を忙しいからとしている。

【⑤入ってみての期待と現実のギャップ】の回答としては多くの人が期待通りとしていたが、期待外れという意見も見られた。しかし、期待外れを感じた人も、自分の努力次

持つて教室を出て行った。この様なことはかつてきた本も嫌だろうが、授業をしてる先生や他の学生にもかなり迷惑をかけることになる。携帯電話に関する目余る行動は、学校内に限らず至る所で見かける。例えば電車の

【⑥】携帯電話: 数年前までは誰もがよく知っている物に

【⑦】携帯電話: いつでも他人と意志伝達ができるのは頗つてもないことだ。その上、邪魔にならない大きさで手頃な値段となるれば、誰もが飛びつくだろう。しかし携帯電話には利点だけではなく多くの問題もある。

【⑧】携帯電話: 先日、授業中に誰かの携帯電話が鳴った。携帯電話を持ってている人はバックを

【⑨】携帯電話: 探り始めて教室はざわついてしまい、一時授業が中断されてしまった。結局電話がかかるにつれて使用されることに対する懸念が見えてくると思われるのに非紹介して欲しい。

【⑩】上級生の勧誘の仕方はどうだったか?の質問に対しても、親しみやすいという答えが群を抜いていた。しかし、うそつき、しつこい、中身が無かったなどの文句も目立つた。また、勧誘が消極的だという意見もあり、少しアビール不足の団体もあったように思われる。また、マラソン大会の参加を義務づけたり、面接を行ったり、入部受付を途中で締め切る団体もあったようだ。しかし、アンケートによれば、人数を減らすことを考へるのではなく全員を活かすことを考えほしい、という意見もあった。難しい課題ではあるだろうが前向きに考えてほしいと思う。

【⑪】大学生活での経験は、良き思い出となるだけでなく、社会に出てからも活かされるに違いない。ぜひ本学の団体だけに限らず何らかの活動にかけ加して、悔いのない大学生活を送ってほしい。

◆女子
砲丸投げ
一位 伊藤 和三
やり投げ
一位 伊藤 和三
二〇〇M

◆男子
走幅跳
一位 須賀 宏之
(大会新)
五〇〇M
一位 坂田 恒
一六〇〇Mリレー
須賀、市野、横田、伊藤
走高跳
一位 伊藤 和三
三段跳
一位 市野 力
(大会新)

◆総合
男子トラック部門優勝
男子フィールド部門優勝
男子個人最多得点者
伊藤和三
女子トラック部門一位
女子フィールド部門優勝
女子総合一位
伊藤和三
八薬科大学総合優勝
(敬称略)

右記のように大会新記録を出するなど華々しい功績を挙げた。陸上競技部の更なる活躍を期待したい。

六月十八日(水)～二十五日(水) 学内展

六月十八日(水)～二十五日(水) 学内展